

福島県定例支払事務労働者派遣業務仕様書

第1 目的

この仕様書は、福島県出納局出納総務課における労働者派遣業務について必要な事項を定めたものであり、派遣元事業者（以下、「乙」という。）は、契約書に定めるもののほか、この仕様書に定めるところにより派遣労働者を派遣するものとする。

なお、本仕様書に記載の数量は概算であり、福島県（以下、「甲」という。）の都合により増減することがある。

第2 業務の実施場所

業務の実施場所は下記のとおりとする。また、やむを得ない場合は、出納総務課職員の随伴のもとに別の執務室や会議室において勤務する場合がある。

- 1 配置先
出納総務課
- 2 勤務場所
福島県庁西庁舎2階
- 3 所在地
福島県福島市杉妻町2番16号

第3 労働者派遣契約の履行期間等

- 1 契約期間
契約日から令和9年3月31日まで
- 2 派遣期間
令和8年6月1日から令和9年3月31日まで
- 3 派遣期間制限抵触日
令和11年2月1日
- 4 契約単価

派遣労働者1人1時間あたりの派遣料金について、単価により契約を締結するものとする。ただし、1日に7時間45分を超える時間外労働及び休日労働に関しては、契約単価に割増分を加算するものとし、加算額については、職員の給与に関する条例（昭和26年福島県条例第9号）及び職員の給与に関する規則（昭和35年福島県人事委員会規則第7号）に準じるものとする。

第4 派遣人数及び業務従事予定時間数

- 1 派遣人数
派遣人数は3名とする。なお、派遣労働者は、原則として上記第3の2の派遣期間中、同一の派遣労働者を継続して配置することを想定している。また、上記履行期間において派遣人数・派遣開始日等に変更が生じる場合は、甲乙協議の上決定するものとする。
- 2 人員体制
上記1に示した3名のうち、1名を業務遂行上の連絡調整及び作業の進捗管理を行う作業管理者として配置するものとする。なお、本業務における派遣労働者に対する指揮命令は出納総務課が行うものとし、作業管理者はこれを代行する立場にならないものとする。
- 3 業務従事予定時間数
下記のとおりとする。なお、勤務予定表に定める勤務日及び勤務時間に係る派遣

予定時間が下記に満たない場合、あるいは超過する場合であっても、契約書記載の単価によるものとする。

期間	総業務従事予定時間	内訳		
		作業管理者	スタッフ 1	スタッフ 2
令和 8 年 6 月 1 日 ～ 7 月 31 日	7 9 2 時間	2 6 4 時間	2 6 4 時間	2 6 4 時間
令和 8 年 8 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	2, 4 7 2 時間	9 4 8 時間	1, 5 2 4 時間	

第 5 勤務日時

勤務日時は、原則として福島県職員服務規程（昭和 5 2 年福島県訓令第 2 号。以下、「服務規程」という。）に準じ、次に定めるところによるものとするが、あらかじめ甲と乙で協議のうえ変更できるものとする。

1 勤務日

- (1) 令和 8 年 6 月 1 日から令和 8 年 7 月 3 1 日
作業管理者及びスタッフ 2 名いずれも、毎週月曜日から金曜日までとする。
- (2) 令和 8 年 8 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日
作業管理者は毎週月曜日から金曜日の週 5 日間、スタッフ 2 名については、毎週月曜日から金曜日のうちそれぞれ 4 日間の勤務とする。
ただし、国民の祝日に関する法律（昭和 2 3 年法律第 1 7 8 号）に規定する休日を除く。

2 勤務時間

勤務時間は、原則として各人 1 日あたり 6 時間とする。勤務時間帯は 9 時から 17 時までの間とし、当該時間帯において、常時 1 名以上が勤務している体制となるよう、適切にシフトを編成するものとする。

3 休憩時間

午後 0 時から午後 1 時までの 1 時間

4 その他

- (1) 時間外労働
甲は、乙と派遣労働者との間の労働契約に定める範囲内において、時間外労働を命じることができる。なお、契約書に掲げる派遣料金の算出及び支払の対象となるのは、甲が命じた時間外労働に限る。
- (2) 就業の報告
派遣労働者は、毎勤務終了後、勤務記録書により指揮命令者から就業時間の承認を受けるものとする。
- (3) 欠勤の報告
派遣労働者は、上記 1 及び 2 に掲げる勤務日及び勤務時間に勤務しない時間が生じる場合には、甲が定める様式により、書面で甲へ報告するものとする。
- (4) その他
服務規程に定める勤務時間又は休憩時間に改正があった場合には、原則として服務規程の改正内容に準じ、改正後の勤務時間又は休憩時間とする。

第 6 業務の内容等

1 業務に利用するシステム等

- (1) Microsoft Office Word
- (2) Microsoft Office Excel
- (3) Google Chrome
- (4) PDF ファイルの作成・閲覧ソフト
- (5) desknet's NEO
- (6) 福島県財務会計システム

((1)～(6)は、Microsoft Windows、Microsoft Edge 上で動作する業務システム及びソフトウェアである。)

2 業務内容及び業務量

(1) 標準的な業務量

本業務の概要は、毎月の各所属における電気料、通信・電話料の支払いをクレジットカードを利用して、全ての所属の請求を集約して出納総務課で支払うものである（以下、「集約支払い」という。）。令和8年6月から7月までは、集約支払いの開始に向けた準備に係る業務（220 所属の計 1,700 件）を行い、令和8年8月以降は、毎月の集約支払い業務（1,700 件）や予算の管理（230 科目）、事務マニュアルの作成等の業務を行う。なお、処理件数については、支払い対象の追加により増加する場合がある。また、来客対応、電話の受理、担当部署への引継ぎ等の補助業務が含まれる場合がある。

具体的な業務の内容及び標準的な業務量については、別紙2-1及び2-2のとおりとし、事務手続きにおいては法令及び県の条例・規則等を遵守する。また、契約期間中、制度改正等の事情により、業務の改廃等が見込まれる場合には、あらかじめ、甲は乙に対して通知するものとする。

(2) 繁忙期間の業務量

本業務においては、令和8年8月以降の集約支払業務において、毎月10日から20日頃までの期間を中心として処理が集中することから、業務量が増加する繁忙期間が生じることが想定される。処理の進捗状況により、時間外労働を命じる場合がある。なお、当該繁忙期間における業務量の増加は、本仕様書に基づき想定される範囲内のものとする。

第7 派遣労働者の条件

派遣労働者は、次の条件をすべて満たさなければならない。

- 1 日本語による業務遂行に支障がない者であること。
- 2 県庁舎内に勤務するうえで、公務の一端を担う立場としての必要なマナー、接遇等の知識・能力を身につけている者であること。
- 3 ワードプロソフト (Microsoft Word) 及び表計算ソフト (Microsoft Excel) における、文書作成・データ入力や電子メール送受信等の基本操作ができる者であること。なお、本業務の遂行に当たっては、Microsoft Excel を用いた各種関数の活用、データ集計及びマクロ (VBA) 等による業務自動化の実施が可能な技能を有する者が望ましいこと。
- 4 原則として、派遣期間中継続して就業できる者であること。
- 5 6か月以上一般事務に従事した経験がある者とし、そのうち、第4の2の作業管理者については、一般事務に2年以上従事した経験を有し、指導的役割を担うことができる者又は甲が同等と認める者であること。
- 6 機密保持義務及び個人情報保護義務に関して遵守できる者であること。
- 7 甲は乙に対し、派遣労働者が上記1から6までの要件を満たすことに関し、その根拠について照会することができるものとし、乙はこれに対して回答するものとする。

第8 派遣労働者の責任の程度

役職を有さない（部下なし）。

第9 派遣労働者を協定対象派遣労働者に限定するか否かの別

協定対象派遣労働者に限定する。

第10 派遣労働者を無期雇用派遣労働者又は60歳以上の者に限定するか否かの別

無期雇用派遣労働者又は60歳以上の者に限定しない。

第11 各種制度

業務の履行に当たっては、福島県の条例・規則等に基づいて実施するものとする。
なお、その他業務遂行上準拠すべき規程がある場合には別途指示する。

第12 勤務記録に関する報告

1 派遣労働者から甲への報告

派遣労働者は、毎勤務日の勤務記録書を作成し、毎勤務終了後にその内容について、指揮命令者の確認を受ける。

2 乙から甲への報告

乙は、毎月の派遣業務が終了するごとに、速やかに派遣労働者の勤務時間及び時間外勤務時間を報告しなければならない。

第13 派遣労働者の業務処理体制

1 乙は、業務の継続的かつ円滑な履行に支障を来たさないよう、必要な人員を配置しなければならない。

2 乙は、原則として、派遣期間中、継続して勤務できる派遣労働者を確保すること。

3 派遣労働者が休暇等により業務に従事できない場合や、甲から要請がある場合には、乙が責任をもって代替人員の派遣を行うこと。ただし、事務の継続性及び効率性を確保する観点から、甲は代替人員の派遣を求めないことがある。なお、この代替人員の確保にかかる費用は乙が負担するものとする。

4 次の事項に該当する派遣労働者を確認した場合は、甲は指揮監督に基づく指導の他、必要な指導を乙に対し依頼するものとし、乙は、これに基づき必要な対応をとるものとする。その結果改善傾向が見られない場合は、甲は当該派遣労働者の交替を請求することができる。なお、この交替に係る費用は、乙が負担するものとする。

(1) 派遣労働者の知識・技術・能力等が、著しく低く、派遣契約に定める業務の遂行が不十分なとき。

(2) 派遣労働者の理解力、対応等が不十分な場合又は他の労働者との協調性に欠ける場合であって、派遣業務の適正な遂行に支障のあるとき。

(3) 派遣労働者が、正当な理由なくしばしば欠務する等業務の遂行に支障を生ずるとき。

(4) その他上記に準ずる業務遂行上の支障があるとき。

5 乙は、派遣労働者を交替させる場合には、その旨を原則1ヶ月前までに甲に通知するとともに、後任の派遣労働者に対して必要な事務引継を行い、以後の業務に支障がないように措置を講ずること。

6 乙は、派遣労働者の雇用者又は使用者として、労働関係法令上の一切の責任を負い、労務管理を行うこと。

第 14 管理責任者等の設置

- 1 甲及び乙は、契約締結後、次のとおりそれぞれ責任者を決定し、通知するものとする。
 - (1) 派遣元事業者責任者（労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和 60 年法律第 88 号。以下「労働者派遣法」という。）第 36 条に規定する者
協議のうえ決定する。
 - (2) 派遣先責任者（労働者派遣法第 41 条に規定する者）
福島県出納局出納総務課長
 - (3) 指揮命令者
福島県出納総務課内の管理職及び担当
- 2 上記 1 の(1)から(3)までに定める者を変更するときは、「責任者等変更届（任意様式）」を提出する。
- 3 責任者等は、派遣労働者の勤怠管理、勤務時間の指示等を行うこと。
- 4 責任者等は、本業務に係る定例会議を毎月開催するものとする。ただし、責任者等がともに開催の必要がないと認めた場合は、開催しないことができるものとする。

第 15 パソコンの利用環境

- 1 パソコンの利用環境は、基本的に下表のとおりとする。なお、業務に応じて、下表に掲げるもの以外に、業務に利用するシステムのユーザ ID 等を別に付与する場合がある。

提供する環境	利用状況等
財務会計システムユーザ ID	甲が指定する ID を付与する
ファイルサーバ上の共有フォルダ	甲が指定するフォルダの使用を認める
desknet' s NEO	1 人につき 1 つの ID 及びメールアドレスを付与する

- 2 派遣労働者は、財務会計システムユーザ ID 等について、適切に管理しなければならない。
- 3 派遣労働者は、定期的に本業務を履行するために使用するパソコン等に対するコンピューターウイルスチェック及びアップデートを実施するものとする。

第 16 通勤等に関する費用負担

下表のとおりとし、記載のないものについては、別途協議のうえ決定するものとする。

項目	派遣元事業者【乙】	県【甲】	備考
通勤手当	○		
社会保険料	○		
労働保険料	○		
研修	○	○	乙においては、一般的な研修を実施し、甲においては、業務上必要な実務のための研修を実施する。
健康診断	○		

第 17 社会・労働保険加入の通知

乙は、派遣労働者が社会保険・労働保険に加入する必要がある者の場合には、当該派遣労働者の同保険の加入状況を、甲へ通知するものとする。

第 18 派遣労働者に対する研修等

- 1 乙は、事前に派遣労働者に対して、指揮命令に従い勤務等の諸規則に違反しないよう周知するとともに、官公庁において勤務するために必要な基礎知識、機密保持及び個人情報保護に関する遵守事項等について、派遣前に乙の責任において教育・指導を行うこと。
- 2 甲は、派遣労働者に対し、派遣業務の内容や必要な服務規程等について、指導を行うこと。
- 3 派遣期間中においても、必要な教育やフォローを実施する体制を整えること。

第 19 機器及び物品等

- 1 乙は、業務の履行に当たり、下表に示す甲が管理する機器及び物品等（以下「機器等」という。）を使用することができる。乙が機器等の使用に要した光熱水費等の費用は、原則として甲が負担する。ただし、乙の故意又は過失により機器等を滅失又は毀損した場合は、購入又は修理等に必要な費用を請求するものとする。（当該滅失又は毀損の原因が、甲の責任に帰すべき事由にあると認められる場合を除く。）

品名	数量
事務用テーブル	3人分のスペース
事務用椅子	3脚
更衣ロッカー	3人分
パソコン	3台
電話機	2台
コピー機（プリンタ・FAX機能付き） ※甲と共用で使用する。	2台

- 2 上記1以外に、乙が甲の管理する機器等を使用する場合は、事前に協議のうえ決定する。
- 3 上記1以外に、乙が独自に機器等を持ち込む場合は、事前に協議のうえ決定する。
- 4 業務上必要な消耗品については、甲からの現物支給とし、契約終了日に支給されているものについては、甲へ返還するものとする。また、甲から支給される消耗品の使用にあたっては、節約に努めること。なお、甲から支給されるもの以外に必要な消耗品がある場合は、乙が準備すること。

第 20 業務改善

- 1 乙は、本仕様書に基づき、業務の進捗管理及び品質管理を適切に行わなければならない。
- 2 乙は、甲に業務改善を求められた場合は、真摯に対応しなければならない。
- 3 乙は、甲と協働して、本業務を円滑かつ効率的に実施するため、業務の改善提案を適宜行うものとする。

第 21 安全及び衛生

- 1 甲は、作業上の安全・衛生に細心の注意を払うものとする。

- 2 パソコン等を連続して操作する時間は1時間までとし、1時間連続して操作した時には、次の連続作業までの間に10分の作業休止時間を設けるものとする。
- 3 乙は、甲との連絡調整及び派遣労働者のメンタルサポート等を目的とした担当者を設け、派遣労働者に対して月1回以上面接を行うものとする。
- 4 乙は、派遣労働者の作業上の安全・衛生に関し、甲に協力するものとする。

第22 遵守事項

1 一般事項

- (1) 乙及び派遣労働者は、労働者派遣法、労働基準法その他必要な法令及び県の規程等を遵守する。
- (2) 乙及び派遣労働者は、福島県の信用を失墜させる行為をしてはならない。
- (3) 派遣労働者は、就業時間中、派遣業務の遂行に専念する。
- (4) 派遣労働者は、業務を行う事務スペース等を常に整理整頓し、清潔な状態に保たなければならない。
- (5) 乙は、派遣労働者の風紀及び規律の維持に責任を負い、職場秩序を保たなければならない。
- (6) 派遣労働者は、業務の履行場所及び県の庁舎内においては、身分を証する名札等を常に着用するものとする。
- (7) 派遣労働者は、甲のパソコン等の機器、机、椅子等の備品等を善良な管理者の注意をもって使用するものとする。

2 機密保持及び個人情報に関する取扱い

- (1) 乙及び派遣労働者は、業務の履行に関して取り扱う機密情報及び個人情報について、個人情報保護法、福島県個人情報保護条例、福島県情報セキュリティポリシーその他必要な法令及び県の規程等を遵守する。
- (2) 乙及び派遣労働者は、甲の許可なく、パソコン又は電子記録媒体等を就業場所へ持ち込んで서는ならない。
- (3) 乙及び派遣労働者は、甲から提供された資料等(電子データを含む)について、次のとおり取り扱う。
 - ・甲の許可なく、資料等を複写又は複製をしない。
 - ・甲の許可なく、資料等を業務の実施場所から持ち出さない。
 - ・資料等の漏えい、滅失及び毀損の防止その他の適切な管理のために必要な措置を講じる。

第23 その他

本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合については、別途協議のうえ決定するものとする。

※別紙

- 別紙1-1 勤務予定表案(令和8年6月1日から7月31日)
- 別紙1-2 勤務予定表案(令和8年8月1日から令和9年3月31日)
- 別紙2-1 派遣業務の内容及び標準的な業務量(令和8年6月1日から7月31日)
- 別紙2-2 派遣業務の内容及び標準的な業務量(令和8年8月1日から令和9年3月31日)
- 別紙2-3 業務スケジュール案(令和8年8月分)